優秀賞

地域の「困った」を「良かった」に変える 中央地区地域支えあいボランティア活動

中央地区地域支えあい協議体

取組をはじめたきっかけは何ですか？

鹿沼市の中央地区は17町の自治会で構成されており、鹿沼市の中心地区として経済と文化の中心的な役割を担ってきました。近年は人口の減少と高齢化が進んできており、地域の活力が少しずつ低下しています。

そのような中で、平成25年、平成27年の2度にわたる大規模浸水被害をきっかけに、地域住民の一人ひとりが安心して暮らせる地域づくりを目指し、平成31年に中央地区安全安心総合対策推進協議会が発足しました。地区の住民に実施した「日常生活困りごとアンケート調査」により、令和元年10月より、暮らしやすい地域づくりに取り組むために地域支えあいボランティア活動（住民同士の支えあい事業）を開始しました。

どんな取組を行っていますか？

地域の高齢者の自立と生活を支えていくために、地域住民から支えあいボランティアを募り、公的サービスでは対応できない家屋内の掃除・洗濯・布団干しや屋外の草刈り・除草・庭の手入れと、寄り添い支援として話し相手や散歩の同行、など住民同士の支えあい活動を行っています。

活動を始めてみると、今迄の地区組織の垣根を超えることができ、地域住民に横のつながりが生まれ、より地域の活性化とお互い様の関係性が強くなりました。

取組を行う際のポイント

運営は社協や行政が担うことなく地域住民が主体となって行っています。高齢者の日常生活の自立を支えるために“おせっかい”にならないよう寄り添いながら支援を心掛けています。また、訪問時には依頼だけでなく高齢者とのおしゃべりをしながらコミュニケーションを図り、そっと見守ることも大切にしています。そして、日常生活支援の依頼だけでなく地域の高齢者から「話を聞いてほしい、相談にのってもらいたい」など心配ごとを受けとめる存在になっています。

福祉案件など専門的な事案は「中央地区地域支えあい活動連絡票」にて地域包括支援センター、鹿沼市社会福祉協議会と連携する仕組みがあります。

また、緊急時には民生委員・児童委員、地域包括支援センター、社会福祉協議会、市と連絡体制があります。

これからの活動について

コロナ禍においても、感染予防を講じながら高齢者の生活支援を中断することなく活動を継続しています（活動は年々増加中）。

併せて、地域が主体となっている生活支援を実施して

いる県内外の団体への視察を行い、交流を図りながらお互いの活動のヒントを得て、良いところを取り入れるなど、現在の活動においても改善につなげていきます。

今後は高齢者の買い物のニーズに対応するための送迎サービス等を検討しています。

中央地区地域支えあい協議体
メンバー

中央地区地域支えあいボランティア活動

◆場　　所 鹿沼市中央地区エリア

◆対　　象 中央地区在住の65歳以上高齢者世帯対象

◆活動内容 ・食事作り、掃除、片付け、洗濯、布団干し、草刈り、除草、話し相手、散歩付添い、買い物代行、不要品の整理などのサービス提供
・年間述べ219人の地域の協力会員が158件の活動に取り組む。（第3期）

◆会　　費 各会員の年会費は、利用会員1000円、協力会員1000円、賛助会員2000円以上。

◆料　　金 利用時間ごとに低額の料金設定

『おせっかいにならないよう、高齢者の気持ちに寄り添いながら日常生活をそっと支える』オンリーワンなまちづくり

中央地区の地域支えあいボランティア活動は高齢者の日常生活支援のため、いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、中央地区の横のつながりを活かし、顔の見える関係で取り組みを始めてから4期目に入りました。

『おせっかいにならないよう、高齢者の気持ちに寄り添いながら日常生活をそっと支える』ことで、これからも住みやすさオンリーワンのまちに取り組んでいきたいと思います。

中央地区地域支えあい協議体　代表　吉井　和夫

団体概要

団体名 ｜ **中央地区地域支えあい協議体**
所在地 ｜ 栃木県鹿沼市三幸町77－1
代　表 ｜ 吉井　和夫
事業内容 ｜ 高齢者の日常生活支援
（家事支援・寄添支援・屋外支援）

評価のポイント

活動にあたって、自治会、民生委員・児童委員、見守り隊、老人クラブに加え、地元小学校、交番、市、社会福祉協議会等の関係機関、さらには地元商店など様々な方々の参加を得ながら、横のつながりを築き上げています。地域における高齢者世帯への見守り支援や多彩な生活支援を行うとともに、ハイキング等のイベントも企画して地域のつながりが切れないよう工夫するなど、きめ細やかな取組であることが高く評価されました。